

日本語用論学会 第 23 回大会 プログラム(簡易版 1)

大会テーマ：「おしゃべりな私たち： Keep doing pragmatics!」

開催日時： 2020 年 11 月 28 日(土)、29 日(日) 9:30 開始
内 容： 11 月 25 日 (水) ~29 日(日) **オンデマンド方式**
11 月 28 日(土)~29 日(日) **リアルタイム方式**

今大会は、以下の 2 つの方式を併用します。「指定の特設ページ」は、事前に参加登録を済ませた方にもお知らせします。(大会 1 週間まえを目途にお送りします。)

オンデマンド方式	リアルタイム方式
発表動画を事前に視聴し、質疑応答は掲示板を用いて行います。一部の発表は、大会当日にリアルタイム方式での質疑応答も行います。	ZOOM を用いて発表と質疑応答を行います。詳しくは、28 日(土)と 29 日(日)のタイムテーブルをご覧ください。

大会のコンテンツは以下の通りです。

【ワークショップ】(3 件)

- ◆ **オンデマンド方式**で行います。指定の特設ページで動画を視聴し、質問は掲示板に書き込んでください。
- ◆ 質疑応答は、28 日(土)に、**リアルタイム方式**で行います。

【ポスター発表】(7 件)

- ◆ **オンデマンド方式**で行います。指定の特設ページに掲示されたポスターをご覧ください。
- ◆ 質疑応答は掲示板で行いますが、一部は 28 日(土)に**リアルタイム方式**での質疑応答も行います。

【口頭発表】 オンデマンド方式 (13 件)

- ◆ **オンデマンド方式**の口頭発表は、ワークショップと同じ要領で行います。
- ◆ 指定の特設ページで発表動画を視聴し、質問は掲示板に書き込んでください。
- ◆ 質疑応答は、11 月 28 日(土)、29 日(日)のいずれかに、**リアルタイム方式**で行います。

【口頭発表】 リアルタイム方式 (11 件)

- ◆ **リアルタイム方式**の口頭発表は、11 月 28 日(土)、29 日(日)のいずれかに行います。
- ◆ ZOOM 上で実施すること以外は、対面による通常の学会発表と同じです。

【特別講演】【会長就任講演】【会員総会】【シンポジウム】

- ◆ **リアルタイム方式**で行います。
- ◆ 28 日(土)は【特別講演】【会長就任講演】【会員総会】を行います。
- ◆ 29 日(日)は【シンポジウム】を行います。

【11月25日（水）～29日（日）】 オンデマンド方式

【ワークショップ】

	質疑応答	
	掲示板	ZOOM
WS-1: 配慮表現の対照研究 (代表: 山岡政紀)		
(1) 配慮表現はいかに普遍的であるか (2) 日本語の配慮表現 (3) 英語の配慮表現 (4) 中国語の配慮表現 (5) アラビア語の配慮表現	山岡政紀 (創価大学) 小野正樹 (筑波大学)、牧原功 (群馬大学) 甲田直美 (東北大学) 李 奇楠 (北京大学) リナアリ (カイロ大学)	○ 11/28 A.M. Room B
WS-2: 新規表現のダイナミズム (代表: 松浦光)		
(1) 事象構造メタファーからみた新規表現—「経験値」をめぐる冒険へ— (2) 英語由来「ザ」の日本語における新規用法 (3) 新規副詞「ワンチャン」の成立と拡大—2009年のTwitter用例を対象として— (4) 絵から文字へ、文字から絵へ	松浦光 (横浜国立大学)、林智昭 (近畿大学) 梶原彩子 (名古屋学院大学) 菊地礼 (中央大学) 黒田一平 (龍谷大学)	○ 11/28 A.M. Room B
WS-3: 語用論研究におけるコーパス利用の可能性と留意点 (代表: 山内昇)		
(1) 言語能力, 言語運用とコーパスデータ (2) 日本語の小説における符号で表される沈黙に関する分析 (3) 中国語の自然会話における「不是」の談話機能について: マルチモーダル情報を含むコーパスに基づく調査 (4) 字幕翻訳における談話標識の翻訳ストラテジーに関する語用論的研究: speaking of which を事例として	大名 力 (名古屋大学) 新實葉子 (立命館大学) 李 嘉 (岐阜聖徳学園大学) 山内 昇 (大同大学)	○ 11/28 A.M. Room B

【ポスター発表】

質疑応答は掲示板で常時実施。ZOOMによる質疑応答も一部実施。

	質疑応答	
	掲示板	ZOOM
若者ことば「びえん」の文法的特性と推論の負担について	工藤 俊 (駒沢女子大学)	○
アメリカの大学生が用いる I don't know の用法について	小林 隆 (群馬県立女子大学)	○
「カモシレナイ」のモダリティ機能 —口語表現「おいしいカモ」語用論の観点から—	堀内タ子 (大阪キリスト教短期大学)	○
否定の可能構文に見られる行為指示型の用法に関する分析 —先行発話及び動作主のタイプに基づいて—	李 娜 (北海道大学)	○
広告表現における「2つの視座」の分析	加藤久俊 (フリー)	○
看護実習記録における「Nがみられる」と「Nがある」の使い分けについて	山元一晃 (国際医療福祉大学)	○
"Shitakke" Conditional and Deontic/Evidential Modality in Hokkaido Dialect of Japanese HIRAMA, Yuta (Otaru University of Commerce), NISHIGUCHI, Sumiyo (Otaru University of Commerce)		○

【口頭発表】

質疑応答は掲示板で。ZOOMによるリアルタイムの質疑応答も実施する。

	質疑応答	
	掲示板	ZOOM
会話内の other-speaker formulation のフレーム比較分析	西山 遥 (慶應義塾大学大学院)	○
映画ポスターにおけるキャッチフレーズの語りの分析 —日中対照研究—	王 珏奇 (金沢大学大学院)	○
Self-praise and politeness: is gender relevant?	ITAKURA, Hiroko (Shinshu University)	○
遂行発話は本当に宣言なのか	佐藤雅也 (京都大学大学院)	○
英語の一人称・二人称代名詞の語用論的機能	金沢じゅん (東京大学)	○
「寄与関係」の名詞修飾節における推論と明示化—日韓語の対比を通じて—	李 載賢 (名古屋大学大学院)、堀江薫 (名古屋大学)	○
中国人日本語学習者の謝罪に見られる方策使用の特徴	李 嘉隆 (名古屋大学)	○
慰め行動における性差 —青春ものアニメの分析—	張 楽 (金沢大学)	○
接尾辞「-流、-式、-風」における含意の対立 —たとえの類型への示唆—	三田寛真 (東京大学大学院)	○
人間関係は触覚メタファー: 「べたべた」のメタファーを例に	劉 俊蘭 (関西大学)	○
日本語修辭疑問文の (イン) ポライトネス	案野香子 (静岡大学)	○
国会討論におけるイン/ポライトネスとジェンダー	柳田亮吾 (大阪大学)	○
日本語の不謙敬語シークエンスの開始部における共通基盤化—ロールプレイデータと日常会話データの比較から—	ASAD, Marina Bahaa (立命館大学)	○

【11月28日(土)】 リアルタイム方式 (ZOOMを使用)

Room A (口頭発表、講演)

9:30 }	LINEチャットの会話における感動詞の分析：日本語母語場面と日韓接触場面の比較を通して	楊虹 (鹿児島県立短期大学) 倉田芳弥 (聖学院大学)
10:10 }	中上級日本語学習者のヘッジ使用 — 中間言語語用論の観点からの考察 —	堀田智子 (東北大学)
10:50 }	「とは言っていない」「と言っているのではない」「と言っているわけではない」の使い分けに関する語用論的考察	森貞 (福井工業高等専門学校)
11:35 }	「Vて、どうぞ」— SNSにおける陳述副詞「どうぞ」の拡張的用法 —	三瀬風乃 (立命館大学) 岡本雅史 (立命館大学)

Room B (オンデマンド発表に対する質疑応答、各15分)

	[Workshop 1] 配慮表現の対照研究
	[Workshop 2] 新規表現のダイナミズム
	[Workshop 3] 語用論研究におけるコーパス利用の可能性と留意点
11:35 }	映画ポスターにおけるキャッチフレーズの語りの分析 — 日中対照研究 —
11:50	王珏奇 (金沢大学大学院)
11:55 }	会話内の other-speaker formulation のフレーム比較分析
12:10	西山遥 (慶應義塾大学大学院)

Lunch Break

13:10 }	Synchrony / Diachrony, Seeing from the Descriptive Perspective on Grammaticalization: The Case of Seeing	HAYASHI, Tomoaki (KINDAI University)
13:45		
13:50 }	他動詞文における語用論— 介在性の他動詞文 —	前田宏太郎 (東京大学大学院)
14:25		
14:30 }	日本語とインドネシア語の禁止サインの比較 — 駅の禁止サインの「禁止表現」をめぐる —	MUTHI, Afifah (金沢大学大学院)
15:05		

13:10 }	遂行発話は本当に宣言なのか	佐藤雅也 (京都大学大学院)
13:25		
13:30 }	否定の可能構文に見られる行為指示型の用法に関する分析 — 先行発話及び動作主のタイプに基づいて —	李娜 (北海道大学)
13:45		
13:50 }	Self-praise and politeness: is gender relevant?	ITAKURA, Hiroko (Shinshu University)
14:05		
14:10 }	"Shitakke" Conditional and Deontic/Evidential Modality in Hokkaido Dialect of Japanese	HIRAMA, Yuta (Otaru University of Commerce) NISIGUCHI, Sumiyo (Otaru University of Commerce)
14:25		
14:30 }	広告表現における「2つの視座」の分析	加藤久俊 (フリー)
14:45		
14:50 }	看護実習記録における「Nがみられる」と「Nがある」の使い分けについて	山元一晃 (国際医療福祉大学)
15:05		

10 min.

15:15 }	【会員総会】(20分)
15:35	

5 min.

15:40 }	【会長就任講演】(60分)
16:40	日本語にイン/ポライトネス研究が必要なわけ
	日本語用論学会会長 滝浦真人 (放送大学教授)

5 min.

16:45 }	【特別講演】(60分)
17:45	場の語用論—パラダイムのハイブリッドを求めて
	井出祥子先生 (日本女子大学名誉教授)

【11月29日(日)】 リアルタイム方式 (ZOOMを使用)

Room A (口頭発表、シンポジウム)

9:30 } A Pragmatic Analysis of Interactions among Speakers of
10:05 } English as a Lingua Franca on a LEGO Task: Exploring the
functions of other-initiated repairs in ELF communication
YAMAGUCHI, Masataka (Kobe City University of Foreign Studies)
TANIMURA, Midori (RITSUMEIKAN University)

10:10 } The Appendor Wh-Question in Cascading Troubles
Sequences
10:45 } JONES, Sally (Nagoya University)

10:55 } 日本語の名詞句内における省略の談話的制約
11:30 } 松本大貴 (京都大学大学院)

11:35 } ロシア語の不定人称文の情報構造について
12:10 } 水野庄吾 (京都大学大学院)
松本大貴 (京都大学大学院)

12:30

13:30 }
16:10 }

【シンポジウム】 会話分析の基軸と展開

相互行為における認識性
早野薫先生 (日本女子大学)

子ども (非定型発達児を含む) の相互行為
高木智世先生 (筑波大学)

日本語教育における CA
岩田夏穂先生 (武蔵野大学)

相互行為における身体資源
城綾実先生 (早稲田大学)

16:10
16:20

閉会式

Room B (オンデマンド発表に対する質疑応答、各15分)

9:30 英語の一人称・二人称代名詞の語用論的機能
9:45 金沢じゅん (東京大学)

9:50 「寄与関係」の名詞修飾節における推論と明示化—日韓語の対比
10:05 } を通じて 李載賢 (名古屋大学大学院) 堀江薫 (名古屋大学)

10:10 中国人日本語学習者の謝罪に見られる方策使用の特徴
10:25 } 李 嘉隆 (名古屋大学)

10:30 慰め行動における性差 —青春ものアニメの分析—
10:45 } 張 楽 (金沢大学)

10:55 接尾辞「一流、一式、一風」における含意の対立 —たとえの
11:10 } 類型への示唆— 三田寛真 (東京大学大学院)

11:15 人間関係は触覚メタファー: 「べたべた」のメタファーを例に
11:30 } 劉俊蘭 (関西大学)

11:35 日本語修辭疑問文の (イン) ポライトネス
11:50 } 案野香子 (静岡大学)

11:55 国会討論におけるイン/ポライトネスとジェンダー
12:10 } 柳田亮吾 (大阪大学)

12:15 日本語の不満談話シークエンスの開始部における共通基盤化 — ロ
12:30 } ールプレイデータと日常会話データの比較から —
ASAD, Marina Bahaa (立命館大学)

Lunch Break